

DVD INDEX 26'06"

CHAPTER 1	きけんはっけん! ストリート	6'03"
CHAPTER 2	どちらがあんぜん? ストリート	5'57"
CHAPTER 3	かくれたきけん! ストリート	7'22"
CHAPTER 4	じてんしゃの おやくそくストリート	3'38"
CHAPTER 5	大切なおねがい もし じこにあったら	53"
CHAPTER 6	ふろく ♪すわってダンス 止まる 見る まつ	2'13"

基本編

1・2・3年 対象

歩行中の交通ルールと
 自転車の交通ルールを基本から伝える

交通安全教育DVD 教職員活用ガイドブック



- 時間に合わせた指導ができる!
- 復習に便利なワークシート付き!



DVD収録内容および本冊子、ワークシートは、
 ホームページからもダウンロードできます。
<https://social.ja-kyosai.or.jp/safety2/>



全国共済農業協同組合連合会
 監修：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

はじめに

このDVDは、小学校低学年向けの交通安全教育用教材です。

親しみやすいキャラクターがナビゲーターとして登場し、クイズ等を交えて歩行時における交通ルールやマナーを解説、道路で予測される危険や、自転車の正しい乗り方をわかりやすく伝えます。また、付属のワークシートでは、DVDで学んだ内容の復習ができます。チャプターごとの再生も可能なので、ホームルームや授業、課外授業等の様々な場面でご活用ください。

※感染症拡大防止に十分配慮し、実施可能な形式でご活用ください。

本教材のセット内容

このDVDは「小学生向け交通安全教育DVD」3編セットの基本編です。

基本編 歩行における交通ルールと、自転車の交通ルールを基本から伝える教材です。自転車に乗り始める小学校低学年の児童を対象としています。

特徴

小学校低学年における交通安全教育では正しい交通ルールを学ぶことはもちろんですが、身近な交通シーンに存在する危険を予測し、その危険を回避する行動が重要となります。そのためこのDVDでは、様々な交通シーンにおける具体的な危険や安全な行動を解説しています。また、児童が積極的に取り組めるようクイズ形式で学ぶことができます。

発展編 自転車の交通ルールとマナーを教える教材です。自転車に乗る機会が増える小学校高学年の児童を対象としています。

保護者編 家庭での交通安全教育の大切さを伝える教材です。小学生の子どもをもつ保護者を対象としています。

「基本編」の活用方法

チャプターごとの再生も可能です。全編約26分

チャプター 1	きけんはっけん! ストリート	約6分	街の中に潜む交通事故の「きけん」とは? 横断時の危険や3つのお約束「止まる」「見る」「まつ」を学びます。
チャプター 2	どちらがあんぜん? ストリート	約6分	どちらが安全な行動か? 危険な行動を説明し、その回避方法を学びます。
チャプター 3	かくれたきけん! ストリート	約7分	通学路や自宅周辺等に潜む危険について、実写映像で具体的に学びます。
チャプター 4	じてんしゃのおやくそくストリート	約4分	自転車に乗り始める子どもたちが、最初に覚えておくべき自転車の交通ルールを学びます。
チャプター 5	大切なおねがい もし じこにあったら	約1分	万が一交通事故に遭ったら…。交通事故に遭った場合の正しい対処法を学びます。
チャプター 6	ふろく♪すわってダンス 止まる 見る まつ	約2分	DVDで覚えた交通安全ルールやお約束を歌とダンスで楽しく復習します。

■付属のワークシートをご活用ください

本編対応の児童向けワークシートを2枚同梱しています。それぞれの表面は指導時のワークシートとしてご活用いただくことはもちろん、学習活動の振り返りや宿題としてもご利用いただけます。また、裏面は保護者向けのお知らせと自宅掲示用の交通安全啓発チラシです。コピーしてご活用ください。

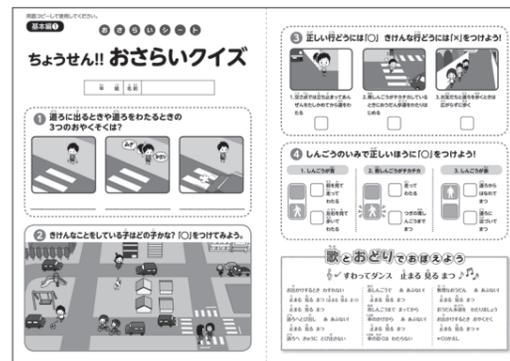
●基本編ワークシート①:

短時間でできるやさしいワークを中心とした構成です。

●基本編ワークシート②:

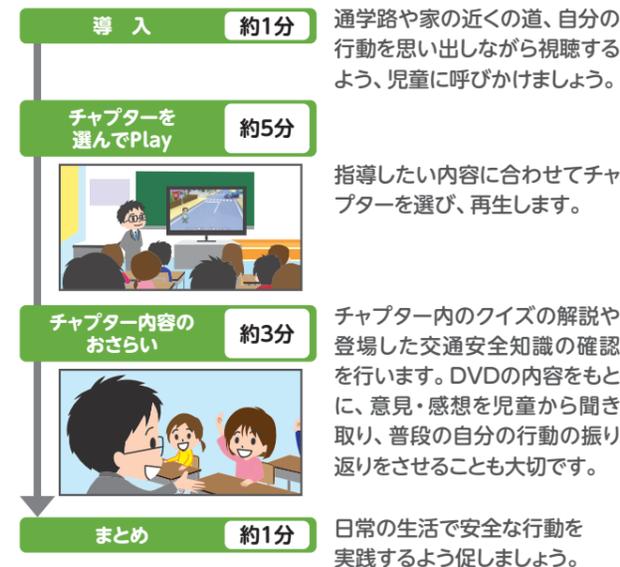
時間をかけて考えさせる応用的なワークを中心とした構成です。

(解答と解説はP9、10を参照)

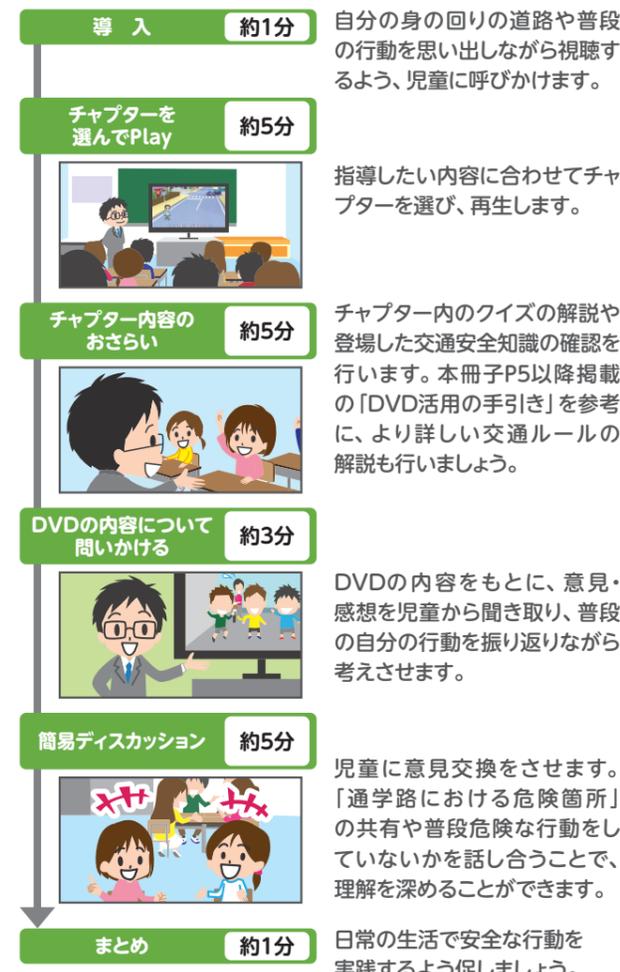


時間に合わせた指導展開例

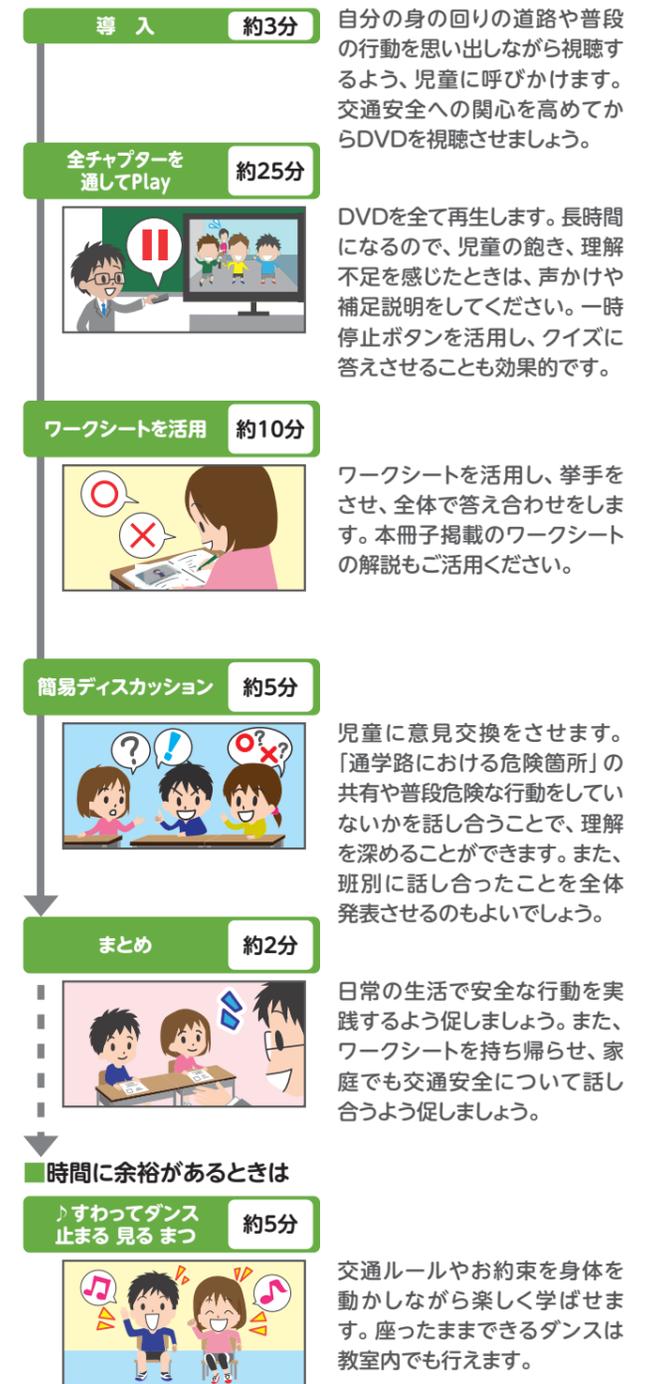
10分のショート学習



20分のポイント学習



45分のトータル学習



■「考える」場面では「一時停止マーク」が表示されます

楽しみながら積極的に取り組めるよう、重要な場面ではクイズ形式で問いかけを行っています。出題直後の画面左上に「一時停止マーク」が表示されますので、DVDを一時停止し、個人またはグループで答えを考えさせてください。全体発表等もよいでしょう。



一目でわかる各チャプターのポイント解説

CHAPTER 1

約6分

きけんはっけん! ストリート

交通安全教育の導入として、登場人物のマモルくんと交通警察のおまわりさんが、街の中に潜む交通事故の「きけん」を探しながら横断時の危険について学びます。さらに、安全に横断するための3つのお約束「止まる」「見る」「まつ」を学びます。

- ①飛び出しの危険
- ②横断歩道外横断の危険
- ③走行車両直前後横断の危険
- ④信号無視の危険
- ⑤駐車車両直前後横断の危険



CHAPTER 2

約6分

どちらがあんぜん? ストリート

様々な交通シーンで、どのように行動することが安全なのか、2択クイズで学びます。単に交通ルールを解説するのではなく、その行動がなぜ危険なのかを丁寧に説明し、危険回避方法を学びます。

- ①交差点で安全に信号待ちをする方法
- ②横断歩道を安全に横断する方法
- ③青信号点滅時の安全行動と信号の意味
- ④踏切を安全に横断する方法



CHAPTER 3

約7分

かくれたきけん! ストリート

通学路や自宅周辺等の生活道路に潜む危険を学びます。実写映像を活用することでわかりやすく解説します。また、歩行者目線とドライバー目線の比較映像を用いて相手からどのように見えているかを学びます。

- ①見通しの悪い交差点での横断時の危険
- ②駐車車両直前後横断の危険
- ③雨天時の傘の安全な使用方法、雨天時・夜間の安全な服装と反射材の有効性
- ④公園周辺での危険行動
- ⑤駐車場での遊戯の危険



CHAPTER 4

約4分

じてんしゃの おやくそくストリート



自転車に乗り始める子どもたちが、まずは知っておくべき自転車の交通ルールをわかりやすく解説し、自転車走行における基礎を学びます。

- ①ヘルメットの正しいかぶり方
- ②道路の左側通行
- ③並進走行の危険性と安全な走行方法
- ④競争の危険
- ⑤歩道における通行方法と歩行者への配慮
- ⑥保護者と一緒に走る

CHAPTER 5

約1分

大切なおねがい もしじこにあったら

どんなに交通ルールを守っていても交通事故に遭わないとは限りません。万が一事故に遭ったときは、まず、その場にいる周囲の大人、そして保護者の方に伝えることの重要性を伝えます。



CHAPTER 6

約2分

ふろく♪すわってダンス 止まる 見る まつ

このDVDで覚えた交通安全ルールやお約束が繰り返し登場する歌と、座ったまま踊れるダンスで、交通安全の基本を定着させます。



止まる 見る まつ
をダンスでおぼえよう!

街の中に潜む交通事故の「きけん」を伝えるなら…

CHAPTER 1 きけんはっけん! ストリート

▶ 指導のポイント

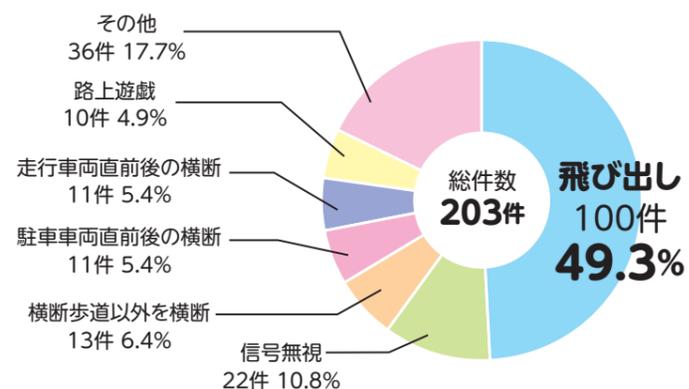
- ① 日常の交通シーンにおける様々な危険性について理解させます。
- ② 正しい交通行動を指導します。
- ③ 道路横断時の3つの約束「止まる」「見る」「まつ」を守らせませす。



▶ もう少し詳しく指導するなら…

■ 小学生の交通事故原因

● 小学生の歩行中の違反別交通事故件数(第1当事者)



※件数の割合は小数点第2位以下を四捨五入しています。
 ※参考データの都合上、7~12歳を小学生としています。
 警察庁交通局交通統計年報(令和元年)をもとにJA共済連が作成

小学生の交通事故原因のトップは「飛び出し」です。飛び出し行為をさせないようにするには、繰り返しその危険性について指導することが重要です。また、こうした行動が危険だと理解できるように、DVDの視聴を通して、児童の危険を感じとる力を高めましょう。



■ 安全な横断の指導

道路横断時の安全をわかりやすく理解させるため、「止まる」「見る」「まつ」という3つのキーワードで指導します。

① 止まる



道路横断時、あせったり飛び出したりしないように「止まる」。

② 見る



右左から車が来ないかをよく確かめるための「見る」。

③ まつ



車が来ていたら、「まつ」。車通過後、さらに車が来ていないことを十分確かめてから横断します。横断している際も右左の安全を確かめながら横断します。

正しい交通安全行動を指導するなら…

CHAPTER 2 どちらがあんぜん? ストリート

▶ 指導のポイント

- ① 日常の交通シーンで正しい行動がとれるように、安全な横断歩道の渡り方や信号機の意味を理解させます。
- ② 具体的な例(「交差点ではどのような危険があるか」「青信号点滅時にはどのような行動をとるのが正しいか」など)を提示して、そこにある危険や安全な行動を考えさせます。

▶ もう少し詳しく指導するなら…

■ 道路の安全な渡り方

● 安全な横断のしかた

道路を横断する際は、まず右と左をよく見て、車やバイク等が来ないかどうか確かめます。車等が来ている場合は通り過ぎるまで待ちます。車が通り過ぎた後も再度右左の安全をよく確かめてからまっすぐ横断します。車が止まってくれたときでも、車の運転手と目を合わせるなどして相手が自分のことを認識してくれたことを確かめましょう。さらに車の陰からバイクや自転車等が来ないかどうか安全を確かめます。

● 横断歩道を渡る

近くに横断歩道がある場合は、少し遠回りでも横断歩道を渡ります。横断する際は、手を上げたり、運転者に顔を向けるなどして横断する意思を伝えます。安全を確認してから横断を始め、横断している間は走ったりせず、右左の安全を確かめながら横断します。近くに横断歩道や歩道橋、横断用地下道等の安全に横断できる施設がないときには、道路がよく見渡せる場所で横断します。

● 信号の意味

信号機がある場合はその信号に従って横断します。歩行者用信号機がある所では、その信号に従います。たとえ、青信号であっても、右や左から来る車等が止まったことを確かめてから横断します。青信号の点滅など信号が変わりそうなときは、横断を始めてはいけないという合図です。次の青信号まで待ちます。



▶ さらに発展させるなら…

■ 標識の知識 DVD未収録

歩行者として安全に道路を通行するために必要な知識である標識・標示の種類と、その意味を理解させましょう。

歩行者専用	歩行者横断禁止	横断歩道・自転車横断帯	横断歩道	一時停止	自転車および歩行者専用
(1) 歩行者専用道路(歩行者だけの通行のために設けられた道路)の指定 (2) 歩行者専用道路の指定	歩行者はこの標識のあるところでは横断をしてはいけません。	横断歩道と自転車横断帯であることを示しています。	横断歩道であることを示します。	自転車等は一時停止をしなければいけません。	(1) 自転車歩行者専用道路の指定 (2) 普通自転車以外の車の通行止め (3) 普通自転車歩道が歩道を通行できることの指定

危険を予測・回避する能力を養うなら…

CHAPTER 3 かくれたきけん! ストリート

▶ 指導のポイント

- ①交通事故の危険性を早期に発見させるためには、予測される危険を教えることが有効です。
- ②身近な危険を直感的に感じとる力(危険感受性)と危険を回避して安全に通行する能力(危険回避能力)を育むために、具体例を提示して児童に考えさせましょう。

▶ もう少し詳しく指導するなら…

■ 考えさせる指導方法例

提示された問題の映像について、何が危険であり、どのように行動するべきかをまず自分で考えさせ、時間があれば班別での話し合いや全体で発表するなどして、意見の共有を図りましょう。



Q どちらが危険?

見通しの悪い交差点



Q どちらが危険?

止まっている車の付近



Q どちらが目立つ?

雨天時や夜間



▶ さらに発展させるなら…

DVDの内容をもとに、日常生活における場面や通学路等にある身近な危険について考えさせましょう。全体で発表させ、危険箇所を共有させることも重要です。

■ 危険な状況の例

見通しの悪い交差点



止まっている車の付近



雨天時や夜間



自転車運転の基礎を指導するなら…

CHAPTER 4 じてんしゃの おやくそくストリート

▶ 指導のポイント

- ①自転車は車の仲間です。自転車で道路を通行する場合、「車両」としてのルールやマナーを理解し、行動する必要があります。
- ②まずは自転車に乗るときの基本的なルールを理解させましょう。

▶ もう少し詳しく指導するなら…

■ 一人で自転車に乗る前に **保護者編** に収録

自転車に乗り始める低学年の児童に対しては、まず自転車に一人で安全に乗れるかどうか、次のことを確認しましょう。



自転車の基本ルールが守れるか



低速で、バランスを取って走れるか



両足のつま先が地面につくか



ブレーキできちんと停止できるか

▶ さらに発展させるなら…

基本編は、自転車に乗るときの6つのお約束(ヘルメットは正しくかぶる、道の左がわを走る、ならんで走らない、きょうそうをしない、歩道は歩く人ゆう先、お家の人と走ろう)を教えています。さらに詳しく指導する場合には、下記の「自転車安全利用五則」を解説してください。

■ 自転車安全利用五則 **発展編** **保護者編** に収録

1 自転車は、車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置付けられています。したがって、歩道と車道の区別があるところは車道通行が原則です。

※歩道に「普通自転車歩道通行可」の標識等があるとき、13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な人が自転車を運転する時など一部例外があります。



2 車道は左側を通行

自転車は、道路の左端に寄って通行しなければなりません。

3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道では、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。



4 安全ルールを守る

- 飲酒運転は禁止
- 二人乗りは禁止
- 並進は禁止
- 夜間はライトを点灯
- 信号を守る
- 交差点での一時停止と安全確認



5 子どもはヘルメットを着用

児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるようにしましょう。



ワークシート解答

基本編① 表面

① 答え：止まる・見る・まつ

解説

小学生の歩行中の交通事故原因で、最も多い違反が『飛び出し』です。また、そのほとんどが交差点で発生しています。道路を渡るときは、まず「止まる」。右左から車が来ないかをよく「見る」。車が来ていたら焦らずに「まつ」。車が通過した後も右左の安全をよく確かめて横断するようにします。

③ 答え：1.○ 2.× 3.○

解説

横断歩道や交差点は、一度立ち止まって、周囲の安全をよく確認してから横断します。横断中も車の陰からバイクや自転車が来ないか、後続車はないかなどを確認します。信号機のある交差点では、必ず信号に従います(信号の種類と意味は④の解説を参照)。歩道および路側帯のない道路では道路の右側を通行しなければなりません。また、友だち同士で横に広がって通行することは大変危険です。ふざけたり、走ったりすることは、重大事故につながります。

基本編② 表面

① 答えの例：自動車やバイク・自転車等と衝突する／歩道の縁石等につまづいて転ぶ／駐車しようとしてバックして来る車と衝突する など。

解説

1. 交差点を走ってわたる
…交差点を急いで横断すると右左折車への気づきの遅れや、他の歩行者や自転車との衝突の危険があります。

2. 友だちとふざけたり、あそびながらわたる
…友だちとの会話に注意が向いてしまい、周囲への安全意識が散漫になります。特に横断中はふざけたりせず、車の運転者と目を合わせたり、車の陰からバイクや自転車等が来ないか確認します。

3. 公園からきゅうにとび出す
…ボールや友だち等、何かに気を取られていると視野が狭くなり、接近してくる車両等に気づきにくくなります。

4. ちゅう車場であそぶ
…駐車場で遊ぶ、走るなどの行為は大変危険です。子どもは駐車しようとしている車の死角に入りやすく、思わぬ事故につながります。また、急に開いたドアに接触するだけでも、重大事故につながるおそれがあります。

両面コピーして使用してください。

基本編① おさらいシート

ちょうせん!! おさらいクイズ

年 組 名前

① 道ろに出るときや道ろをわたるときのおやくそくは?

② きけんなことをしている子はどの子かな? 「○」をつけてみよう。

③ 正しい行どろには「○」 きけんな行どろには「×」をつけよう!

④ しんごうのいみで正しいほうに「○」をつけよう!

歌とおどりでおぼえよう

♪すわってダンス 止まる 見る まつ♪

お出かけするとき わずれない	あしんごうで ああふない	無理なおうだん ああふない
止まる 見る まつ (止まる 見る まつ)	止まる 見る まつ	止まる 見る まつ
止まる 見る まつ	あしんごうまで まつてから	おうだん歩道を わたりますよ
道ろへとび出し ああふない	車のかけから ああふない	お出かけするとき おやくそく
止まる 見る まつ	止まる 見る まつ	止まる 見る まつ*
道ろへ きゅうにとび出さない	車の近くは わたらない	*くりかえし

② 答え：①～⑦の○

解説

①…道路の反対側にいる猫に気を取られて、走行車両の直前を、右左をよく確認せずに横断しています。

②…駐車車両のすぐそばを横断しようとしています。駐車車両の陰からの走行車両と衝突する危険があります。

③…ボールを追いかけて、周囲の状況をよく確認せずに車道に飛び出しています。

④・⑤…車道における自転車の並進走行は違反です(標識等で並進走行可とされている場合を除く)。友だちと会話をしながら、前方不注意の状態で行っています。

⑥・⑦…横断歩道を渡っているときも、周囲の状況をよく確認しながら渡ります。

④ 答え：1.下に○ 2.下に○ 3.上に○

解説

歩行者用信号機の正しい意味は以下の通りです。

●青色の灯火
…歩行者は進むことができます。

●青色の灯火の点滅
…歩行者は、横断を始めてはいけません。横断中の者は速やかに横断を終わるか、横断をやめて引き返さなければなりません。

●赤色の灯火
…歩行者は、横断してはいけません。

両面コピーして使用してください。

基本編② おさらいシート

ちょうせん!! おさらいクイズ

年 組 名前

① どんなきけんがあるか考えよう

② 正しいり方に「○」、まちがっているり方には「×」をつけよう。

③ 公園からきゅうにとび出す

④ ちゅう車場であそぶ

チャレンジワーク!

通学ろにあるきけんな場しよを考えて、はっぴょうしよう! また、どうすればあんぜんに通じけるかも考えて話し合おう!

② 答え：1.○ 2.○ 3.× 4.×

解説

1. 自転車乗用中死者を損傷主部位別に見てみると、*5割以上が頭部を損傷して亡くなっています。保護者は13歳未満の幼児・児童に乗車用ヘルメットを着用させるよう努めるとともに、着用させる場合はあご紐をしっかり締めると、正しく着用させるようにします。

2. 自転車で車道を走行する場合は車道の左端に寄って通行しなければなりません。また、例外として歩道を走行する際は車道寄りを徐行しなければなりません。

3. 自転車の並進走行は、「並進可」の標識・標示がある場所以外では禁止されています。縦一列になり、前後に十分な間隔をあけて走行します。

4. 自転車を運転するときは、周囲の安全をよく確認し、運転に集中します。

チャレンジワーク!

解説

見通しの悪い交差点、信号機のない交差点や横断歩道、また狭い歩道や路側帯、通行量の多い道路等をどのようにすれば安全に通じけるかを班別で話し合い、発表し合います。また、危険箇所等を地図に書き込んだものを掲示板に貼り、情報共有することも大切です。

*令和元年中の自転車乗用中の死者433人のうち、損傷主部位「頭部」死者232人
出典：警察庁交通局 交通統計年報(令和元年)